

V 県民の文化活動を盛んにする

1 文化の振興

(1) 県民文化芸術活動の振興 << 施策 25 >>

社会教育課

令和3年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 次代を担う子どもたちの創造性を育み、多様な個性と豊かな人間性の形成を図るため、関係機関との連携を強化しながら、子どもの文化芸術活動を推進します。
- ◇ 県立美術館の機能充実に努め、県民の鑑賞・創作活動の促進を図ります。
- ◇ 令和2年2月に策定した「福岡県文化芸術活動の在り方に関する指針」に則った適正な運営により文化芸術活動の推進を図ります。

令和3年度 主な取組・事業

取組・事業名	実績
子ども文化事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民文化祭「鑑賞・発表事業」の実施 2市 ○ 県民文化祭「芸術体験講座」の実施 19校（小学校13校、中学校5校、特別支援学校1校）
中学校文化連盟 ^{注1)} 、高等学校芸術・文化連盟 ^{注2)} への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県芸術・文化活動事業補助金の交付 ○ 総合文化祭の開催に関する広報協力など
県立美術館の機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 展覧会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展 <ul style="list-style-type: none"> （コレクション展Ⅰ） 「宝物のような日常」 （コレクション展Ⅱ） 「特集1：古川吉重の抽象」 「特集2：ようこそ edukenbi へ！」 （コレクション展Ⅲ） 「福岡県立美術館の近代絵画」 ・ 企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「1964－福岡県文化会館、誕生。」 「豊福知徳寄贈記念展 光の探求」 ・ 実行委員会展 <ul style="list-style-type: none"> 「ムーミンコミックス展」 「近代日本絵画の名作展－ひろしま美術館コレクション－」 ・ 令和3年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 <ul style="list-style-type: none"> 「移動美術館展」（桂川町で開催） ・ 第76回福岡県美術展覧会（県展） ○ 県民の芸術活動発表の場としての展示室貸出（45団体） ○ 美術館レター「とっぷらいと」の発行（年3回）及び美術教養講座の実施 ○ スクール・ミュージアム事業（アートコース）の実施（14校） ○ ホームページ上における「バーチャル美術館」「edukenbi」の運用

成 果 県立美術館において、2年ぶりに「福岡県美術展覧会（県展）」を開催しました。

- ・ 県民文化祭において、知事部局と連携し、「鑑賞・発表事業」を県内市町村で、「芸術体験講座」を県内の小・中・特別支援学校で実施しました。特に「芸術体験講座」において、楽器演奏、能楽、和太鼓等の体験及び鑑賞を行ったことが、児童生徒から好評価を得ています。
- ・ 福岡県中学校文化連盟が実施する事業に対し支援を行ったことにより、生徒の文化芸術活動の充実が図られました。
- ・ 「ムーミンコミックス展」の開催や、2年ぶりに「福岡県美術展覧会（県展）」を開催するなど、県民のニーズに応えた展覧会を実施することができました。

課 題 県民の美術鑑賞の機会の確保や創作意欲を高めていく必要があります。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響により来館者数が伸び悩んでいます。
- ② 来館者の安全を図りながら、県民の美術鑑賞の機会の確保や創作意欲を高めていく必要があります。

対 応 マスコミとの連携による効果の高い広報や、ホームページやSNS等を使った情報発信を積極的に行います。

- ① コロナ禍で実行委員会展の入場者数は伸び悩んだものの、アンケートの満足度は非常に高い評価をいただいています。今後も県立美術館の財産やノウハウを生かした満足度の高い展覧会を開催し、県民の美術に関する鑑賞・創作活動の更なる促進を図ります。
- ② 福岡県美術展覧会（県展）の出品数の増加や集客力を高める取組として、出品しやすい作品規定の変更を周知し、マスコミとの連携による効果の高い広報、ホームページや新たにSNS等を使った情報発信を積極的に行います。その他、県立美術館の活動内容を、ホームページ等を通して、一層の周知を図ります。

注釈

注1) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等11の専門部を有する。

注2) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等19の専門部会を有する。

- ・ 日本遺産「古代日本の『西の都』」魅力発信事業によって、多くの人々に身近にある貴重な文化財の魅力を発信することができました。

課題 九州歴史資料館では、新たな入館者の開拓につながる取組が必要です。

- ① 九州歴史資料館については、館周辺の開発も進んでおり、多彩なイベントや展示の実施に加え、近隣住民を含む新たな入館者の開拓につながる取組や学校教育との一層の連携が必要です。
- ② 旧福岡県公会堂貴賓館については、文化財の保護を図りながら、引き続きその価値や魅力を発信していく必要があります。
- ③ 日本遺産「古代日本の『西の都』」魅力発信事業については、文化財の確実な継承のため、より多くの県民に文化財への興味関心を抱いていただく必要があります。

対応 九州歴史資料館においては、市町村や学校、民間企業等と連携した展示やイベントを実施します。

- ① 九州歴史資料館においては、入館者の拡充を図るため、県内市町村、国立博物館や他県施設と連携した展示や講演会等の開催、学校や民間企業等と連携したイベントを行うとともに、あらゆる来館者に配慮した展示を行います。また、ホームページやSNS等を活用し、イベント等の情報発信を行います。
- ② 旧福岡県公会堂貴賓館については、指定管理者と連携協力しながら、貴賓館の魅力を生かした事業を実施するとともに、ホームページや各種媒体を活用した積極的な情報発信を行います。
- ③ 日本遺産「古代日本の『西の都』」魅力発信事業では、児童生徒対象の講座や解説本の作成、特別展等を開催します。